

優秀賞（y a b山口朝日放送賞） ケダマの会

代表者 橋本 あき子（くらしづくり分野／周南市）

活動の動機・目的

それぞれ個人で犬・猫の保護活動をしていた二人が同じ目標に向け周南地域を基盤にグループを結成。厳しい環境におかれている犬や猫、処分される犬や猫を、一匹でも多く救うことが出来たら、という気持ちから会が始まった。

山口県は平成26年度の犬・猫殺処分数が全国で3番目に多かった。殺処分「ゼロ」をめざし、行き場のない犬や猫の里親探しを行う。また、これ以上不幸な命を増やさないための動物愛護の啓発活動や増えない・増やさない活動に力を入れる。人や犬・猫にとって優しい社会づくりを目指す。

活動の内容

①保護動物の飼養（保護施設において）

- 約50頭の保護犬・猫の毎日2回の餌やり。散歩やしつけ。住環境の清掃整備。投薬や通院。
- メンバー以外でも、自宅で、保護した犬・猫の預かりを行うミルクボランティアや家に慣らす役割、避妊・去勢手術をしたりと、ボランティアの人たちが支える。

②里親探し

- ホームページやポスター等で募集。
- 犬猫の譲渡会「ケダマの会譲渡会」を毎月、周南市にて開催。
当日譲渡は行わず、手順を踏む。アンケート（事前調査票）記入→自宅でトライアル飼育→正式譲渡。譲渡条件を厳守できる方のみとする。実績：平成27年度 22回開催、139匹譲渡。

③動物愛護に関する啓発活動（山口県の動物愛護推進委員を代表者が委嘱されている）

- 動物愛護の展示や呼びかけをして、飼育マナーや飼育責任を啓発する。
- 飼い犬や飼い猫の迷子、飼育困難や周南市の野犬問題などの相談にも対応。
- 周南市立小・中学校へ動物愛護の本を紹介する「ブックリスト」を作成し配布。

⑤猫問題の取り組み

- 山口県が推進している、飼い主のいない猫の不妊去勢手術（TNR活動）の相談に、捕獲器貸し出し等で対応。TNRとは、【Trap（捕獲）Neuter（避妊手術）Return（元の場所に戻す）】野良猫の繁殖制限方法。当会对応手術数は、平成26年度 60匹 平成27年度 107匹。
- TNR活動の普及、支援者を集めるための啓発事業を実施。その一環として、山口県生活衛生課より講師派遣を受け「地域猫活動お届け講座」を周南市で初めて開催。「地域猫」とは何か、どのような取り組みか等を説明された。※「地域猫」は地域住民の認知と合意が得られている飼い主のいない猫のこと。



これからめざしたいこと

- 地域の方の理解を得ないと難しいので、啓発活動に力を入れ、「地域猫活動」を通して、人と動物の調和のとれた快適な暮らしづくりをめざしていく。
- 野良犬の多い周南市という地域性において、「啓発」だけでなく、直接小さな命を救い、バトンを繋げることに力を注いでいく。



地域猫講座
〜周南総合スポ
ーツセンターにて